

平成21年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	伝説が見える・伝わる、観光まちづくり—三好市東祖谷の平家落人伝説と伝統文化・茅葺き集落など多様な地域資源を、住民と来訪者がともに磨き高め合う 新しい歴史観光まちづくり事業		
(2) 実施団体名	三好市東祖谷 平家落人伝説歴史観光まちづくり実行委員会	(3) 対象地域	徳島県三好市 東祖谷地区
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	徳島県三好市

(6)実施した取組の内容	取組①	文化を継承し伝える体験プログラムの開発・商品化と、運営体制づくり	
	実施主体	主担当:保存会、コミュニティ、活彩、いってみる会、ちいおり、市役所、リンク、庵	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<p>1)文化・伝承の掘り起こしと体験プログラムの商品化を目指す実験ツアー開催◆H20年度事業の成果を踏まえ、「平家落人伝説」をはじめ、地域の伝統・文化資源を、実行委員地域団体が中心に掘り起こす。事業運営法人の担い手とともに、体験プログラムとして企画、実験ツアーの開催を行い、開業に向けた商品化を図る。</p>	<p>●実施内容:文化・伝承の掘り起こしと体験プログラムの商品化を目指す実験ツアー開催、この成果に基づき、課題の抽出、課題解決のための方策の検討、方策実施方法の検討 ●実施時期:平成21年7月～平成22年3月※この間に3回のワークショップ(以下「WS」と5回のフォローミーティング(以下「FM」)を開催◆WS①H21.7/29～31◆FM①(京都先進地研修会)9/2～3◆FM②10/19～20◆FM③11/9～11◆WS②(実験ツアーを含む)12/7～11◆FM④H22.1/20～22◆WS③(食の発表会含む)2/9～12実施予定◆FM⑤3/2～5実施予定 ●実施場所:三好市役所東祖谷支所会議室、竜宮崖公園観光案内所、落合公民館、ちいおり、落合集落内各所、大枝・阿佐集落内各所、釣井集落内各所、京都の庵町家・研修舞台・京都各所ほか ●取組の成果:H20年度事業の成果を踏まえ、実行委員＝地域団体(コミュニティ・活彩・保存会・ちいおり)が中心に、市役所・庵・リンクのサポートで、「平家落人伝説」をはじめ、地域の伝統・文化資源を掘り起こし、実験ツアー開催に向けての作業及びツアー開催そして課題の整理を、WSとそのFMを繰り返し、実行した。実験ツアーでは、「平家落人伝説」の「落人」という言葉から想起される負の印象を払拭できるような、安徳天皇を擁する平家のエリート集団が祖谷に隠れたという伝説に基づく雅なイメージを喚起できるようなプログラムをはじめ、異なる3つのテーマのツアーを企画、事業運営法人の担い手として活動を期待されるちいおりのメンバー(村松さん)を人材育成しつつ、特に観光ビジネスで注目される「食」をクローズアップした実験ツアーの開催を行った。</p> <p>なお、3本の実験ツアーは、想定する顧客を個人旅行者、複数組が一緒に参加、各ツアーとも6～8名の定員が最適であるという想定で実施した。モニター顧客として、旅行・観光関係の専門家、旅行会社、地域旅館関係者(実行委員会メンバー)、県庁観光担当者など延べ23名が参加。地域団体講師として延べ7名、ガイド延べ3名、地域団体スタッフ延べ10名、実行委員会スタッフ延べ12名、計55名が参加した。実験ツアーにより具体的に見えた課題の整理(食の提供の段取り、講師及びガイドのスキルアップなど)と解決策を今後の担い手となる各地域団体間で共有、検討をしつつ、開業に向けた商品化を図っている最中である。</p> <p>●WS及びFMの参加人員:WS①(延べ85名)、FM①(京都先進地研修会、三好から24名、京都15名+講師3名)、FM②(延べ47名)、FM③(延べ43名)、WS②(実験ツアー+会議、延べ69名)、FM④(延べ38名)、WS③開催予定、FM⑤開催予定</p>

<p>(6)実施した取組の内容</p>	<p>実施内容、実施結果</p>	<p>2)滞在体験型サービスとそれを提供する事業運営法人を担う人材育成◆1)の共同作業をもって、人材育成と、地域内外におけるネットワークづくりを推進する。◆また、取組①の体験プログラムのみならず、②の食、③の成果である滞在拠点を「商品」とし、滞在＋飲食＋体験＋その他手配を事業内容と据え、運営できる人材の育成のため、庵の京都事業(町家滞在、伝統文化体験)を題材とした現場研修(地方の元気再生事業ではなく関連事業)を行う。もって「本物を求める大人が満足できる」滞在体験型観光事業の姿と、目指すべき品質、用意すべきサービス、習得すべき技術(※)を明確にし、開業に向けたプランを作成、創業の準備を推進。(※経営・管理、滞在接客・事務管理、清掃、飲食調理・提供、体験運営・講師など)</p>	<p>●実施内容:文化・伝承の掘り起こしと体験プログラムの商品化を目指す実験ツアー開催、この成果に基づく、課題の抽出、課題解決のための方策の検討、方策実施方法の検討 ●実施時期:取組①1)と同じ(※計8回のWS・FMの機会を通し、取組①②③を同時に進行) ●実施場所:取組①1)と同じ ●取組の成果:上欄記載は、実行委員会が行った共同作業である。この作業や活動を通じて、人材育成と、地域内外におけるネットワークづくりを推進し、現在も2月実施予定のWS③「食」のイベント開催に向け、各種準備を推進中である。また、取組①の体験プログラムに加えて、②の食、③の成果である滞在拠点を東祖谷における観光「商品」として想定し、滞在＋飲食＋体験＋及びそれら他手配を、運営主体の事業内容と据えたうえで、これを運営する人材を育成するため、実験ツアー開催という実地を通して現場研修を実施した。平成20年度の事業成果として、体験プログラムにおける講師人材として保存会の南会長、コミニティの中石代表と都築さん、活彩の市岡村長と高橋さんの計5名と、ガイド及び運営手配などを担う人材としてちいおりの村松さんが、適性とやる気・情熱があることが判明していたことから、平成21年度事業では、事業推進の過程において、これに基づく役割分担を行い、実験ツアーを実施することで、各担当者が身に付けるべき役割を研鑽し、課題を明確にしていた。</p> <p>実験ツアーの実施を通じて、人材としての成長は著しところであるが、まだ課題も残る。課題の解決を通じて、今後さらに育成を継続することにより、本プロジェクトの有為な人材として期待できる。次のステップとして、現在も検討を重ねているところであるが、特に3月上旬から実施予定のFM⑤において、「本物を求める大人が満足できる」滞在体験型観光事業の姿と、目指すべき品質、用意すべきサービス、習得すべき技術(※)を明確にし、開業に向けたプランを作成、事業開始準備を推進する予定である。(※経営・管理、滞在接客・事務管理、清掃、飲食調理・提供、体験運営・講師など)</p> <p>●FM②では、地域団体構成員と市役所スタッフ(合計24名)が、先進地研修を実施した。京都に出向き、実行委員会委員の庵の町家ステイと狂言の文化研修、ケータリングの食事等を体験することで、今後、東祖谷で運営する「大人の滞在体験型観光」を身を持って体験、「暮らすように旅をする」ことの実感を持つことができ、本事業への取組意欲が一層高まった。</p>
---------------------	------------------	---	--

	取組②	山岳農地を再生・祖谷の食文化を発信する、地産地消の仕組みづくり	
	実施主体	保存会、コミュニティ、活彩、いってみる会、そら郷、ちいおり、市役所、リンク、庵	
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<p>1) 地産地消レストランで提供する山岳農産物の調達・販売ルートの構築◆集落で開催するワークショップにより、地域住民(山岳農業就業者)の理解を得つつ進める。確保した新しい人材がともに活動、OJTによる人材育成を図る。加えて、三好市内他地域のごだわり農家(こちらも山岳農地が多い)からの調達・供給ルートも三好市プロジェクト・チームの支援を得て、確保。さらに観光事業の顧客等に向けて商品化と販売ルートを検討。◆地域産物の購買を通して山岳農地を支援、一層の地域貢献による地域活性化を目指す。</p> <p>2) 食文化を発信する人材育成と仕組みづくり◆地域の食材と伝統的な調理方法を掘り起こし、対価を得るサービスとして提供できる体制を地域団体の中に構築し、磨きをかけた郷土料理を集落で暮らす地域住民が提供(観光ビジネスの昼食担当)に参画する仕組みをつくる。同時に、一流のシェフが地域食材を用いて新しい視点でプロデュースする料理について、確保したUIJターン人材を食の担い手(観光ビジネスの朝食・夕食担当)として育成、山岳農業の担い手として定着する仕組みの構築を推進。</p>	<p>●実施内容:地産地消レストランで提供する山岳農産物の調達・販売ルートの構築及び食文化を発信する人材育成と仕組みづくり</p> <p>●実施時期:取組①①)と同じ(※計8回のWS・FMの機会を通し、取組①②③を同時に進行)</p> <p>●実施場所:取組①①)と同じ</p> <p>●取組の成果:集落ごとにWSを開催したことにより、地域住民(山岳農家)の理解を得ることが出来た。各団体の中核的な人材と事務局を担う人材(ちいおりの村松さん)が、市役所・庵・リンクの支援とともに活動した。このことにより、OJTとしての人材育成が推進できた。加えて、三好市内他地域のごだわり農家(こちらも山岳農地が多い)からの調達・供給ルートも三好市プロジェクト・チームの支援を得て、確保すべく活動中である。さらに観光事業の顧客等に向けて商品化と販売ルートは、今後検討の予定である。これによって、地域産物の購買を通して山岳農地を支援、一層の地域貢献による地域活性化を目指す準備が整った。</p> <p>また、3回のWS(WS③は、2/9～12開催予定)と5回のFM(FM⑤は3月上旬開催予定)を実施した結果、地域の食材と伝統的な調理方法を掘り起こし、対価を得るサービスとして提供できる体制を、地域団体である保存会・コミュニティ・活彩の中に、ほぼ構築することができた。磨きをかけた郷土料理を集落で暮らす地域住民が提供(観光ビジネスの昼食担当)に参画する仕組みが、市役所・庵・リンクの支援により出来上がった。その総仕上げとして、平成20年度に引き続き、コンラッド東京の和食総括料理長の齋藤章雄氏を招聘し、地域食材を用いて、郷土料理から発想した新しい食のスタイルを提案する料理を、WS③にて、プロデュースをする予定である。これにより、地域住民の料理スキルの一層の向上を図るとともに、今後確保予定のUIJターン人材を食の担い手(観光ビジネスの朝食・夕食担当)として育成、住民として山岳農業の担い手としても、定着する仕組みを構築すべく地域住民とともに準備を重ねているところである。</p>
取組③	茅と「結い」の文化再生による、茅葺き集落での滞在拠点づくり		
実施主体	主担当:保存会、コミュニティ、活彩、そら郷、ちいおり、市役所、JRアーキ、リンク、庵		
(6)実施した取組の内容	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<p>1) H21年度中及び22年度以降の活用・運営を前提とした古民家の確保と気運づくり◆茅葺き集落で開催するワークショップを通じ、住民に本件事業の理解を図り、協力を募る。すなわち、集落の地縁・血縁ネットワークの活性化により情報と協力者を確保、空き古民家を市役所(あるいは保存会、運営主体)への寄贈・譲渡もしくは賃貸が実現できるよう、保存会、三好市プロジェクトチーム、移住した人材、JRアーキ、庵等関係者が活動し、改修～利活用可能な古民家を確保する。(次いで、地方の元気再生事業ではなく関連事業より、京都で古民家再生による滞在体験型観光のモデル事業を営む庵会長アレックス・カーがプロデュース、世界をマーケットにした観光ビジネスの基盤となる滞在拠点として三好市が整備を実行予定)</p> <p>2) 茅再生・耕作放棄地の確保と再生◆利活用可能な古民家と併せて、耕作再開可能な耕作放棄地(遊休山岳農地)と山林を確保し、UIJターン人材が、実行委員地域活動団体及び地域住民の指導と支援を得て、耕作・作業を開始できる体制を整備。◆同時に、これらの人材が、H20年度地方の元気再生事業の成果として結成された茅再生組織「結いまるる」を中心とした自主的な活動に加わり、茅場の整備・茅刈り・茅葺き・石積み、地域住民とともに進めるよう支援。◆もって、茅屋根民家、段畑、里山、茅場の再生を図り、茅葺き集落の本来の姿を取り戻すことに寄与。</p>	<p>●実施内容:H21年度中及び22年度以降の活用・運営を前提とした古民家の確保と気運づくり、茅再生・耕作放棄地の確保と再生</p> <p>●実施時期:取組①①)と同じ(※計8回のWS・FMの機会を通し、取組①②③を同時に進行)</p> <p>●実施場所:取組①①)と同じ</p> <p>●取組の成果:茅葺き集落でも、計8回のWS・FMの機会を通し(うち2回は2月・3月に開催予定)、地域住民に本件事業およびプロジェクト総体への理解を図り、協力を募った。すなわち、集落の血縁・地縁ネットワークを活かし、情報収集を重ね、協力者を得て、空き古民家を市役所(あるいは保存会など地域団体、運営主体)への寄贈・譲渡もしくは賃貸が実現できるよう、繰り返し、要請を続けているところである。その成果として、空家は、新たに39棟、存在とおおよその権利者(または連絡先)が特定でき、改修～利活用可能な古民家を確保すべく、保存会ははじめ地域団体、三好市プロジェクトチーム、庵等関係者が現在も引き続き、活動中である。こうした様々な交渉を経て、途中経過ではあるが、現時点で、利活用可能な空家を2棟(うち1棟は近日中に改築の実施設計を発注予定)を確保できた。引き続き落合集落にある16棟について継続して交渉中である。次いで、地方の元気再生事業ではなく関連事業(国土交通省地域住宅交付金事業を想定)により、京都で古民家再生による滞在体験型観光のモデル事業を営む庵会長アレックス・カーがプロデュース、世界をマーケットにした観光ビジネスの基盤となる滞在拠点として、平成22年度以降、三好市が順次整備を実行予定である。</p> <p>WS・FMの開催を通して、茅場、耕作放棄地の情報が地域団体により集められ、今後、UIJターン人材の確保が進むに応じて、地域団体・地域住民よりの指導と支援を得て速やかに耕作・作業を開始できるまでの、地域への理解の浸透が図られた。平成20年度地方の元気再生事業の成果として結成された茅再生組織「結いまるる」を中心とした自主的な活動は、継続して実行されており、茅場の整備等が進んでいる。今後、確保した人材が、こうした活動に加わり、茅場の整備・茅刈り・茅葺き・石積み、地域住民とともに進めるような支援体制づくりが継続中である。具体的には、取組①の実験ツアーの開催を通して、落合集落の崩れた石垣を修復する体験プログラム、また、放棄された農地を耕す体験プログラムが検討中である。もって、茅屋根民家、段畑、里山、茅場の再生を図り、茅葺き集落の本来の姿を取り戻すことに寄与が期待される。次のステップは、一層のUIJターン人材を確保するために、3月に開催予定のFM⑤を経て、公募などの実施を、平成22年度に予定されている空き古民家改修による施設整備などの実施状況に合わせて、進めていくこととなる予定である。</p>

	平成21年度の取組実施における体制・役割分担	当初計画からの変更点
(7)実施体制	<p>【事業主体】 「三好市東祖谷平家落人伝説歴史観光まちづくり実行委員会」を事業主体とし、その事務局は、徳島県三好市産業観光部観光課とする。構成団体は、地元行政、地域のまちづくり団体、専門企業等、以下の10団体。</p> <p>◎三好市 ◎落合重要伝統的建造物群保存協議会(以下「保存会」) ◎コミュニティ祖谷(以下「コミュニティ」) ◎活彩祖谷村(以下「活彩」) ◎そらの郷山里語協議会(以下「そら郷」) ◎NPO法人ちいおりトラスト(以下「ちいおり」) ◎大歩危・祖谷いってみる会(以下「いってみる会」) ◎株式会社JR四国アーキテツ(以下「JRアーキ」) 四国で観光まちづくり、古民家再生事業等を推進 ◎有限会社リンク・コミュニティデザイン研究所(以下「リンク」) 地域ブランドづくり、体験プログラムの企画、情報発信等のコンサルティング及びデザインワーク ◎株式会社庵(以下「庵」) 京都にて町家を活用した滞在体験型観光事業を実践、各地の滞在体験型観光まちづくりのコンサルティングを推進)</p> <p>【事業実施体制】</p> <p>●取組①～③のワークショップ開催及び取組①の体験プログラムの企画・実験ツアーの開催および商品化は、リンク(担当由井社長)及び庵(担当梶浦社長、黒木、橋本)が実行委員会から事業を受託し、三好市(担当観光課大境、まちづくり推進課宇治川)、ちいおり(担当村松)、コミュニティ(担当中石代表)、保存会(担当南代表)、活彩(担当市岡村長)がサポートする体制で臨む。</p> <p>●取組①の人材確保は、ワークショップでの情報提供を経て、三好市(担当大境・宇治川)が中心となり、保存会(担当南)、活彩(担当市岡)、コミュニティ(担当中石)、庵(担当梶浦・黒木・橋本)がサポートする体制で臨む。</p> <p>●取組①の人材育成は、各取組に確保した人材を投入し、一緒に事業を実行することで、育成する。その際の指導担当は、庵(担当黒木)を主とし、三好市(担当大境)がサポートする。</p> <p>●取組①の事業運営法人の設立に向けた体制づくりは、庵(担当アレックス・カー会長・梶浦・黒木)が中心に、三好市(担当松尾観光課長・宇治川)・いってみる会(担当植田会長)がサポートする体制で臨む。また、開業に向けた事業運営プランづくりは、確保した人材を交え、庵(担当梶浦・黒木)が中心に行う。</p> <p>●取組②の食材調達ルートの構築および食を提供できる人材育成と仕組みづくりは、庵(担当梶浦・齊藤シェフ・黒木・橋本)を中心に、三好市(担当大境、農林振興担当者)・コミュニティ(担当中石)・保存会(担当南)・活彩(担当市岡)・そら郷(担当小西会長)がサポートする体制で臨む。</p> <p>●取組③の利活用可能な古民家と遊休山岳農地の確保は、三好市(担当大境)を中心に、市役所プロジェクトチーム(代表武川副市長)が行動し、保存会(担当南)・活彩(担当市岡)・コミュニティ(担当中石)・JRアーキ(担当東矢)・庵(梶浦・黒木・橋本)がサポートする体制で臨む。</p> <p>●取組③遊休山岳農地の開墾・耕作は、確保した人材が実行するが、この指導役として、三好市(担当農林振興担当者)と保存会(担当南)・活彩(担当市岡)・コミュニティ(担当中石)がサポートする体制で臨む。</p> <p>●取組③の茅刈・茅葺・石積みWSは、平成20年度の取組を経て自主的な活動へと移行しているので、今年度事業としては、支援にとどめる。</p> <p>なお、取組①から③までの総合調整、進捗管理は、三好市産業観光部観光課大境克典と株式会社庵社長梶浦秀樹が、取りまとめ、月に一度実行委員会幹事会(実行委員団体の代表のみ出席)を開催し、当初予定していた計画通りに各取組が進捗しているか、設定した目標の達成状況等を実行委員会全体で共有する。</p>	<p>特に変更点はない</p> <p>各団体内の担当者に多少の変更があったほかは、特に変更点はない</p> <p>各団体内の担当者に多少の変更があったほかは、特に変更点はない</p>

	<p>【地域での事業の浸透と機運づくり】 観光事業の中核拠点となる落合集落に、近隣集落から関係者が集合し、ワークショップ(以下WS)を開催する。このWSを通して、全ての事業を推進していく。WSは計3回の開催を想定。これらの間を埋め、上記の実行委員会を開催するとともに、実質的な企画・調整を行うフォローミーティング(以下FM)の開催を予定(計4回)。 集落内でWS及びFMの回を重ねることで、集落全体・地域全体へ当事業への理解を浸透し、機運を醸成し、古民家や有休耕作地(山岳農地・山林)、情熱ある人材(まずは、現在東祖谷に居住する人材の流出にストップを掛けること、次いで故郷東祖谷に帰りたい、呼び戻したいUターン希望者を優先的に)を確保することを目指す。</p>	<p>ワークショップ、フォローミーティングを開く集落は「落合」としていたが、「落合」に加え、「釣井」「大枝」でも開催を行った。これにより、それぞれの集落を拠点に活躍する団体が、より活動しやすく、参加しやすくなる効果があった。</p>																														
(7)実施体制	<p>【連携して進める事業】 ●取組①～③の推進と同時に、H20年度地方の元気再生事業の調査によって明らかとなった地域内アクセスの課題の解決を図る必要がある。別途事業により、急峻な山岳集落へのJR大歩危駅からのアクセス及び各集落間の移動時間を小さくするための地域内アクセスについて、地域事業者との連携並びに事業法人による運営などの可能性を検討し、個人旅行に相応しいアクセスを構築する。実行チームは、新たな人材が当たることとし、JRアーキ(担当東矢社長)を中心に、三好市(担当宇治川・大境)・いってみる会(担当大平副代表)がサポートする体制で臨み、実験ツアーなどの開催に併せて、アクセス実験の実施を構想。 ●取組①～③の成果を受け、事業として運営を行う法人(NPOを想定)の設立をH21年度内に行う。庵(担当アレックス・カー会長・梶浦・黒木)を中心に、三好市(担当松尾観光課長・宇治川)・いってみる会(担当植田代表)がサポートする体制で臨む。なお、H22年度以降の事業展開の推移を見極め、NPOから株式会社への移行を想定し、その基準づくりなどを進め、計画的に行う。</p>	<p>【連携して進める事業】 ●アクセス実験については、本元気事業内の実験ツアーにて、地元の子会社の協力によるジャンボタクシーおよびレンタカーによる検証を行うにとどまった。 ●事業として運営を行う法人(NPOを想定)については、既存のNPO法人であるちいおりトラストの事業内容の拡大等についても、今年度中(3月上旬を予定)に検討を実施し、新たな法人の設立か既存法人の活用かについて、結論を導くことを予定している。</p>																														
(8)取組により得られた成果	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="302 719 425 762">○成果1→</td> <td data-bbox="425 719 1037 762">確保し育成する人材の数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 762 425 826">なし</td> <td data-bbox="425 762 1037 826">H20 3名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="302 826 1037 938">H21(実際に得られた成果) 計7名 : 今後予定されている観光事業のうち、①運営主体の事務局に相当する人材については、ちいおりトラストの所属する村松さん(1ターン人材)、彼は、同時に体験プログラムのガイドとしても期待し、育成中(1名)。②外国人観光客対応として通訳業務が出来る外国人として、ちいおりトラスト所属のポールさん(1名)。③体験プログラムの講師として活躍が期待でき、さらに育成を継続中のコミュニティの中石さんと都築さん、活彩の市岡さんと高橋さん、保存会の南さん(5名)。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 938 425 981">○成果2→</td> <td data-bbox="425 938 1037 981">山岳農産物はじめ、こだわりの産物を提供する農家(生産者)の数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 981 425 1045">なし</td> <td data-bbox="425 981 1037 1045">H20 10名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="302 1045 1037 1157">H21(実際に得られた成果) 現在把握している人数29名(※今後の整理でさらに増える見通し) : 保存会の所在する落合集落、コミュニティの所在する大枝集落では、ほぼ全部の農家(生産者)が、協力を申し出ている(落合集落で21名、コミュニティで3名)。また、こだわりパン屋さん、手作りソーセージ生産者、祖谷豆腐の製造元、同こんにゃくの製造元、味噌製造元なども協力を申し出ている(5名)など、予定の目標を大きく超過している。(具体的に農家・生産者を特定し、整理を行う作業は、2月9日より開催のWS3にて行う予定。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 1157 425 1200">○成果3→</td> <td data-bbox="425 1157 1037 1200">利活用可能な古民家・民家の数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 1200 425 1264">なし</td> <td data-bbox="425 1200 1037 1264">H20 10棟</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="302 1264 1037 1361">H21(実際に得られた成果) 16棟 : 現在、利活用のための改修工事を前提に具体的な調整段階にあるのは落合集落にある1棟。(権利者との利活用に係る契約は完了し近日中に実施設計を発注予定)さらに1棟目の進捗を待ち、近々1棟が追加される予定。さらにWSなどを通じて、対象となる空き古民家・民家の数が、39棟に増えた。うち、落合集落にある16棟については、引き続き、交渉を継続実施する予定。</td> </tr> </table>	○成果1→	確保し育成する人材の数	なし	H20 3名	H21(実際に得られた成果) 計7名 : 今後予定されている観光事業のうち、①運営主体の事務局に相当する人材については、ちいおりトラストの所属する村松さん(1ターン人材)、彼は、同時に体験プログラムのガイドとしても期待し、育成中(1名)。②外国人観光客対応として通訳業務が出来る外国人として、ちいおりトラスト所属のポールさん(1名)。③体験プログラムの講師として活躍が期待でき、さらに育成を継続中のコミュニティの中石さんと都築さん、活彩の市岡さんと高橋さん、保存会の南さん(5名)。		○成果2→	山岳農産物はじめ、こだわりの産物を提供する農家(生産者)の数	なし	H20 10名	H21(実際に得られた成果) 現在把握している人数29名(※今後の整理でさらに増える見通し) : 保存会の所在する落合集落、コミュニティの所在する大枝集落では、ほぼ全部の農家(生産者)が、協力を申し出ている(落合集落で21名、コミュニティで3名)。また、こだわりパン屋さん、手作りソーセージ生産者、祖谷豆腐の製造元、同こんにゃくの製造元、味噌製造元なども協力を申し出ている(5名)など、予定の目標を大きく超過している。(具体的に農家・生産者を特定し、整理を行う作業は、2月9日より開催のWS3にて行う予定。)		○成果3→	利活用可能な古民家・民家の数	なし	H20 10棟	H21(実際に得られた成果) 16棟 : 現在、利活用のための改修工事を前提に具体的な調整段階にあるのは落合集落にある1棟。(権利者との利活用に係る契約は完了し近日中に実施設計を発注予定)さらに1棟目の進捗を待ち、近々1棟が追加される予定。さらにWSなどを通じて、対象となる空き古民家・民家の数が、39棟に増えた。うち、落合集落にある16棟については、引き続き、交渉を継続実施する予定。		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1037 719 1321 762">H20</td> <td data-bbox="1321 719 2060 762">H21(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 762 1321 826">H21(実際に得られた成果)</td> <td data-bbox="1321 762 2060 826"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 938 1321 981">H20</td> <td data-bbox="1321 938 2060 981">H21(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 981 1321 1045">H21(実際に得られた成果)</td> <td data-bbox="1321 981 2060 1045"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1157 1321 1200">H20</td> <td data-bbox="1321 1157 2060 1200">H21(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1200 1321 1264">H21(実際に得られた成果)</td> <td data-bbox="1321 1200 2060 1264"></td> </tr> </table>	H20	H21(当初予定していた目標)	H21(実際に得られた成果)		H20	H21(当初予定していた目標)	H21(実際に得られた成果)		H20	H21(当初予定していた目標)	H21(実際に得られた成果)	
○成果1→	確保し育成する人材の数																															
なし	H20 3名																															
H21(実際に得られた成果) 計7名 : 今後予定されている観光事業のうち、①運営主体の事務局に相当する人材については、ちいおりトラストの所属する村松さん(1ターン人材)、彼は、同時に体験プログラムのガイドとしても期待し、育成中(1名)。②外国人観光客対応として通訳業務が出来る外国人として、ちいおりトラスト所属のポールさん(1名)。③体験プログラムの講師として活躍が期待でき、さらに育成を継続中のコミュニティの中石さんと都築さん、活彩の市岡さんと高橋さん、保存会の南さん(5名)。																																
○成果2→	山岳農産物はじめ、こだわりの産物を提供する農家(生産者)の数																															
なし	H20 10名																															
H21(実際に得られた成果) 現在把握している人数29名(※今後の整理でさらに増える見通し) : 保存会の所在する落合集落、コミュニティの所在する大枝集落では、ほぼ全部の農家(生産者)が、協力を申し出ている(落合集落で21名、コミュニティで3名)。また、こだわりパン屋さん、手作りソーセージ生産者、祖谷豆腐の製造元、同こんにゃくの製造元、味噌製造元なども協力を申し出ている(5名)など、予定の目標を大きく超過している。(具体的に農家・生産者を特定し、整理を行う作業は、2月9日より開催のWS3にて行う予定。)																																
○成果3→	利活用可能な古民家・民家の数																															
なし	H20 10棟																															
H21(実際に得られた成果) 16棟 : 現在、利活用のための改修工事を前提に具体的な調整段階にあるのは落合集落にある1棟。(権利者との利活用に係る契約は完了し近日中に実施設計を発注予定)さらに1棟目の進捗を待ち、近々1棟が追加される予定。さらにWSなどを通じて、対象となる空き古民家・民家の数が、39棟に増えた。うち、落合集落にある16棟については、引き続き、交渉を継続実施する予定。																																
H20	H21(当初予定していた目標)																															
H21(実際に得られた成果)																																
H20	H21(当初予定していた目標)																															
H21(実際に得られた成果)																																
H20	H21(当初予定していた目標)																															
H21(実際に得られた成果)																																

	○その他の成果→	「食」を担当する地域住民の数	
		H20	H21(実際に得られた成果)
	なし	24名 :地域の奥様方などが、実験ツアー開催を機会として、新たに郷土料理に工夫を加え、楽しく料理を提供する事業を積極的に推進。さらに次のステップとして、この商品化によって収益を上げていくための仕組み作りまでを進行中である。特に中核的に関わるスタッフとして、保存会では20名、活彩では1名、コミュニティでは3名の計24名。	
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>■WSとして実施した上質な個人顧客向けの大人の体験プログラムの実験ツアーは所期の目的を達成し、各種課題をクローズアップすることが出来た。大きなポイントである食の提供における段取りと「もてなし」の意識付け、講師及びガイドの役割の明確化とスキルアップなどである。課題の順次克服とそれに見合うプログラムの価格を設定しながら、平成22年度は、モニター顧客ではなく、実際の顧客を相手にモニター価格でツアーを実施していく予定である。</p> <p>■平成20年度の活動に加え、平成21年度最初のWSを通じて、各活動団体の中心的人物(実行委員)に加え、各活動団体の構成員と地域住民に、将来に向けての大きな目標が認識され、それが、様々な活動の実践を通して、共有化されてきた。市役所と庵・リンクによる支援で、WSとFMが毎月2～5日間(加えて、それ以外に各種準備連絡手配など地域団体とのコミュニケーションが継続されている)現地で開催されたが、それに加えて、地元活動団体自身が共有した目標に向け、個々の具体的かつ段階的な目標をその都度もって、独自に様々な活動を重ねてきたことが成果である。それに基づき、各団体が本件プロジェクトについて、種々良質な建設的な提案をし、そして実行し、成果を上げるなど、目覚ましい進化を遂げている。このような成果を踏まえて、さらに事業を充実していきたい。</p> <p>■上記のとおり、大きな目標の共有などすぐれた成果がある一方で、7月末から約8ヶ月間の事業実施期間に、次々と新しい課題を実現する、ツアーを実行するなど、多くのことを実施したため、地域活動団体は目の前の大きな課題に集中せざるを得ない結果となり、日々継続して実行すべき、人材確保・空家確保・農地確保などの課題への関心が少々薄れがちで、ほどほどの成果にとどまった。さらに大きな成果を得るためには、時間と、具体的な成果目標＝事業開始などが必要であると考えられ、平成22年度の各種事業の実施が待たれるところである。</p> <p>■良質な顧客層を想定した新しい観光事業の開始に向けては、「質の高いサービスの提供」が必然的な課題となる。すなわち、おもてなしの心構え、高品質な接客スキル、これらをバックアップするオペレーションシステム、WEBなどのソフトウェアなどであり、今後、これらの実現のために予想される必要なコストが種々ある。質の高いサービスを提供するには、各種ツール・システムなどの制作や継続的な人材育成研修など、一貫したコンセプトに基づいた実践的かつ市場にマッチしたシステムの構築は必要不可欠なものである。これらシステムを構築するために、今後とも予算を確保していくことが必要である。</p>		
(10)平成22年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成22年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成22年度以降の活動の見込み	
	平成22年度取組内容(予定)	平成22年度取組内容(予定)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●国土交通省地域住宅交付金等の事業を活用し、空き古民家を滞在施設・地産地消レストランに、空き民家を移住人材の住宅として整備 ●移住人材を運営主体のスタッフとして、山岳集落暮らしの継承者として実行委員会全体で、育成・支援を継続 ●ハード・ソフト・域内アクセスの準備が出来次第、試験営業の成果を踏まえて、滞在体験型観光事業の本格的な開業へ 	<ul style="list-style-type: none"> ●国土交通省地域住宅交付金事業を活用し、空き古民家2棟を滞在体験交流施設として整備する。(以降順次、空き古民家を滞在体験交流施設・地産地消レストランや、移住人材の住宅として整備していく予定) ●移住人材を運営主体のスタッフとして、山岳集落暮らしの継承者として実行委員会全体で、育成・支援を継続する方式の具体的な取組みを、H21年度3月に取りまとめ、実施に移す準備を順次整えていく予定である。 ●ハード・ソフト・域内アクセスの準備が出来次第、試験営業の成果を踏まえて、滞在体験型観光事業の本格的な開業に向けて、準備を進める。なお、H21年度の実験ツアーの実施、これによる課題の整理及び解決に向けての活動がスタートし、試験営業の実施準備が整いつつある。 	
本格的な事業展開に向けた各種準備	以下の本格的な事業展開に向けた各種準備		
<ul style="list-style-type: none"> ●移住人材(事業運営法人スタッフ)が、体験プログラム講師である地域住民に寄り添い、山岳集落暮らしを継承し、将来の講師候補に育成 ●本格開業に向け、WEB作成・予約システムのカスタマイズ等を実施、円滑な運営が図れるよう、京都及び現地で現場研修など人材育成を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住人材(事業運営法人スタッフ)が、体験プログラム講師である地域住民に寄り添い、山岳集落暮らしを継承し、将来の講師候補に育成。 ●本格開業に向け、WEB作成・予約システムのカスタマイズ等を実施、円滑な運営が図れるよう、京都及び現地で現場研修において人材育成を継続。 <p>上記に向けて、移住定住のための住居探しなど具体的に必要な措置を講じつつ、各種支援の仕組みを整える予定。さらに、本格開業に向けての各種支援策を市役所において検討中である。</p>		
本格的な事業展開	以下の本格的な事業展開		
<ul style="list-style-type: none"> ●実施地域:三好市東祖谷落合集落ほか ●実施期間:ほぼ永続的に ●実施内容:滞在+食+体験+物販による観光事業展開 ●事業主体:当初NPO法人設立→株式会社化を計画的に推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施地域:三好市東祖谷落合集落ほか ●実施期間:ほぼ永続的に ●実施内容:滞在+食+体験+物販による観光事業展開 ●事業主体:当初NPO法人設立もしくは既存NPO法人の活用→株式会社化を計画的に推進 <p>市役所及び庵+リンクの継続的な支援体制の構築と予算確保(地域住宅交付金の提案事業の活用など)の準備を推進中である。</p>		